



2026 年 10 月 13 日

各 位

会社名 株式会社竹内製作所
代表者名 代表取締役社長 竹内 敏也
(コード：6432 東証プライム)
問合せ先 執行役員経営管理部長 堀内 厚志
兼人事部長
(TEL 0268-81-1200)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026 年 4 月 10 日に公表した 2027 年 2 月期の通期の業績予想、及び配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2027 年 2 月期 通期 連結業績予想 (2026 年 3 月 1 日～2027 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	244,000	37,300	36,500	25,900	560.69
今回修正予想 (B)	261,000	44,500	44,200	31,500	681.71
増減額 (B－A)	17,000	7,200	7,700	5,600	121.02
増減率 (%)	7.0	19.3	21.1	21.6	21.6
(ご参考) 前期実績 (2026 年 2 月期 通期)	225,284	37,687	39,187	28,270	611.92

(2) 修正理由

① 地域別販売台数の見通し (文中の%は、前回予想に対する販売台数の増減率)

北米地域：前回予想を上回る見込み (上期：5.0%増、下期：1.2%増、通期：3.1%増)

- 上期はディーラー向けの販売は予想を下回りましたが、レンタル会社向けの販売が予想を大きく上回り、好調に推移しました。
- 住宅市場の低迷と金利の高止まりによりディーラー向け販売は低調に推移しておりますが、データセンター建設やエネルギーインフラ関連工事が好調に推移しております。下期はより強力な販売プログラムにより、ディーラー向け販売の拡大を見込んでおります。

欧州地域：前回予想を上回る見込み (上期：1.1%減、下期：13.7%増、通期：6.0%増)

- 上期は英国の販売子会社、及び主要ディストリビューターの販売が想定以上に好調に推移しましたが、フランス及びイタリアでは予想を下回りました。

- 長らく低迷が続いたフランスにおいても製品需要が底打ちし、イタリアを含めた主要ディストリビューターにおいても在庫調整が一巡して受注が好調なことから、下期の販売台数は前回予想を大きく上回る見込みです。

アジア・オセアニア地域：前回予想を下回る見込み（上期：41.6%減、下期：6.4%減、通期：21.8%減）

- 上期は、旧来の豪州ディストリビューターの事業閉鎖による販売減を期初より想定していましたが、その影響が想定より長引き、豪州販売は予想を大きく下回りました。
- 下期の豪州販売は、ほぼ前回予想並みを見込むものの、アジア地域での販売が前回予想を下回る見込みです。

以上により、トータルの連結販売台数は、上期実績は前回予想並みの 0.4%増、下期予想は 7.7%増、通期予想は 4.0%増となる見込みです。

② 連結業績予想

販売台数見通しの上方修正に加え、為替レートが想定より円安に推移していること等により、売上高は前回予想を上回る見込みです。利益面においては、以下の要因を織り込んだ結果、各段階利益は前回予想を大きく上回る見込みです。

- 主な増益要因
 - ・ 米国関税の還付（当第2四半期に 26 億円、当第3四半期に 42 億円、通期で 68 億円の営業利益増益影響）
 - ・ 売上高増加に伴う増収効果、及び円安による為替効果
- 主な減益要因
 - ・ 原油高による燃油サーチャージの上昇、及びパナマ運河の通航制限により、海上運賃が想定を大きく上回ること
 - ・ 米国での販売促進のためのディスカウントを前回予想より大きく見込んだこと

③ 為替レート

	上期実勢レート (期中平均)	下期前提レート	前回予想時の 通期前提レート
米ドル	159.60 円	150.00 円	147.00 円
英ポンド	213.14 円	204.00 円	200.00 円
ユーロ	184.84 円	175.00 円	174.00 円
人民元	23.13 円	22.30 円	21.20 円

ご参考 (1)：販売台数見通しの変化（対前年同期比の増減率）

単位：%

	前回発表予想			今回修正予想		
	上期予想	下期予想	通期予想	上期実績	下期予想	通期予想
北米	△0.2	8.3	3.9	4.8	9.6	7.1
欧州	3.3	9.4	6.1	2.2	24.4	12.5
アジア・オセアニア	56.3	30.7	40.8	△8.7	22.4	10.1
連結	2.1	9.7	5.7	2.5	18.2	9.9

ご参考 (2) : 地域別売上高

単位 : 百万円、%

		前回発表予想		今回修正予想		
		上期予想	通期予想	上期実績	通期予想	増減率 (※)
	日本	610	1,260	628	1,270	0.8
	北米	67,970	136,100	75,307	142,220	4.5
	欧州	51,560	98,940	53,637	110,590	11.8
	アジア・オセアニア	2,760	6,390	1,674	4,930	△22.8
	その他	900	1,310	1,135	1,990	51.9
合計		123,800	244,000	132,383	261,000	7.0

※ 前回発表予想からの増減率 (%)

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2026 年 4 月 10 日発表)	110 円	110 円	220 円
今回修正予想		135 円	245 円
当期実績	110 円		
前期実績 (2026 年 2 月期)	0 円	210 円	210 円

(2) 修正理由

当社は、株主の皆様に対する利益配分を経営の重要課題の一つとして位置付けており、基本方針を以下のとおり定め、株主還元を強化していくこととしております。この基本方針に基づき、2027 年 2 月期の利益水準及び財政状態を総合的に勘案した結果、これまで 1 株当たり 110 円としていた 2027 年 2 月期の期末配当予想を、1 株当たり 135 円に修正いたします。

【基本方針】

キャッシュフローを成長投資に優先配分し、月商の 2 ヶ月から 2.5 ヶ月分を目安として運転資金を確保したうえで、余剰資金を株主還元に充当する。

① 連結配当性向 40%を目指し、段階的に引き上げていく。

② 株価水準や資本効率等を勘案のうえ、自己株式の取得を機動的に実施する。

なお、当社はこれまで年 1 回の期末配当を実施してまいりましたが、2027 年 2 月期から、株主の皆様への利益還元の機会を充実させることを目的に、中間配当、期末配当の年 2 回の剰余金の配当を行うこととしております。

3. 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上